

アコと人生…この人にインタビュー《第3回》「仙田 優さん」

群馬アコーディオンセンター会長
前橋アコーディオンサークル所属



練習会場より榛名山を望む



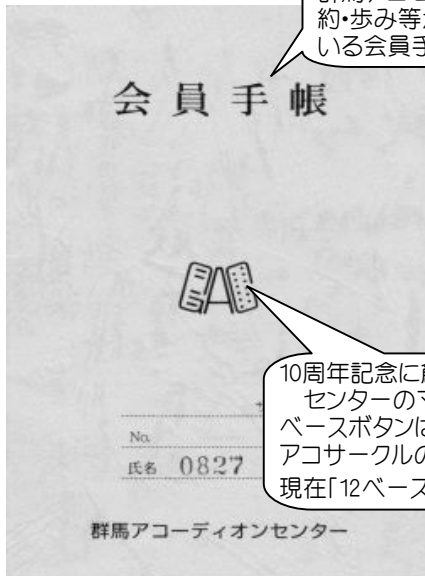
北橋公民館(会場)

朝、東京を出て、上越線「八木原駅」(群馬県渋川市)に到着するとお昼に近い時刻。群馬アコセンターの冬の合宿の合間に駅まで迎えに来てくださった「仙田優さん」は貴重な時間をさいてインタビューに応じてくれました。

群馬アコーディオンセンターは群馬合唱団の伴奏班を前身とし、1962年12月創立。46年の歴史を持つ関東アコの大先輩です。仙田さんは3期生のメンバーのひとり。現在前橋市のふとん屋さん、「ふとんの仙田屋」のご主人です。高三の時、お父さんが大病で入院し家業を継ぐ決意を…。

当時銀行に勤務していたお姉さんが知人から譲り受けた18ベースのアコーディオンがアコとの出会い。やがて群馬合唱団を知り、アコ伴奏をすることになりました。前橋アコサークルに所属。1期生は東京から清村杜夫先生を講師(音楽センター)に迎え、2期、3期と進むごとに自ら後輩を指導し、後輩はまた後輩の指導へ。そして同期の仲間と共に派生的に他地域へサークルを広げていきました。(サークル分布図と誕生年月参照)

群馬アコセンターの規約・歩み等が網羅されている会員手帳。



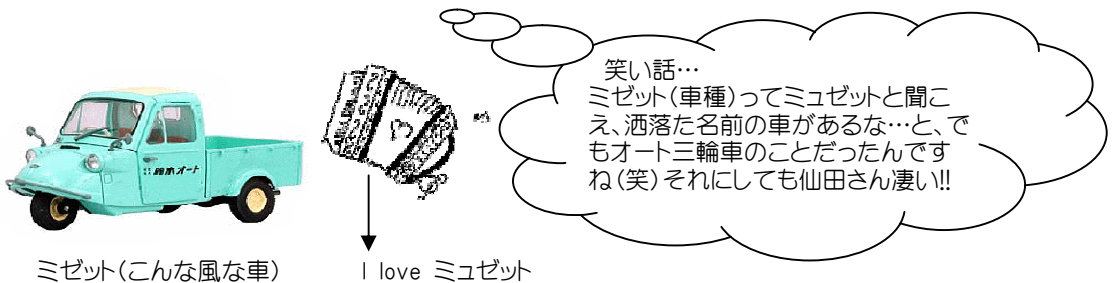
サークル分布図と誕生年月



●沼田、原町、榛恋は現在活動を停止しております。

サークル	誕生年月
前橋	1963年4月
伊勢崎	1966年4月
沼田	1966年4月
桐生	1967年4月
原町	1968年4月
榛恋	1969年4月
太田	1969年9月
富岡	1970年5月
渋川	1970年8月
境	1971年12月
高崎	1972年11月
館林	1975年7月
玉村	1975年11月
蕨のとう	1976年4月
蕨塚	1999年2月

家業のかたわら、他サークルへも指導に行きました。毎週毎週 ミゼットに乗って、「桐生」へ数年後カローラに乗って、雪深い「嬬恋」へ…。アコーディオン愛好者が広がり、サークルが増えてゆくことが「楽器を弾くよりおもしろかった!」そうです。



1974年より江森登先生を講師に迎え、江森教室が始まり、各サークルの代表がソロを教わり各々教室へ帰り、指導しています。「指導にチャレンジ」していく精神がアコーディオンの輪を広げる要。仙田さんと群馬刃を育んだ先輩達の誇りを感じました。

地元では3年前より前橋市中央商店街内で毎月第2火曜日午後(PM3:00~4:30)うたごえ喫茶を開き、伴奏をしています。昔、ある青年団の「歌う会」で伴奏。思うように弾けなくて伴奏を断られ、必死に前奏を50曲位練習した頃もあったそうです。(懐かしい思い出)伴奏は実践ですねと言われます。

「群馬アコーディオンフェスティバル」は毎年、独奏と合奏の大会を隔年ごとに行われていますが、今年は7月13日(日)伊勢崎市境総合文化センターで「合奏大会」を行います。冬の合宿は交流と「合奏大会」の準備演奏。各サークルの代表が音創りに励み、地元で指導します。会場では丁度「威風堂々」の合わせを行っていました。梅雨明けの頃、日本のど真ん中におよそ100名の「威風堂々」が響き渡ります。

最後になりましたが、合宿のさなか、送迎していただき、お弁当までいただき(美味しかったです!)、「電車の中で…」と缶ビールとおつまみ…。本当にありがとうございました。これからもアコーディオンのジャバラのように繋がって、広がっていきましょう。

文:橋本 同行者:乙津、池田



「威風堂々」練習風景。
指揮者は上ノ原さん。(渋川サークル)



真剣に取り組んでいます。右端が仙田さん。

•

!

}

;